

## 第2回機能油脂懇話会 第13回CLA懇話会



ミヤマキリシマと鹿（えびの高原）

主催：機能油脂懇話会

代表世話人：菅野道廣

（九州大学・熊本県立大学名誉教授）

協賛：日清オイリオグループ株式会社

日時：平成23年10月1日（土）13時より

場所：霧島国際音楽ホールみやまコンセール・小ホール

○ プログラム (13:00~17:00) (敬称略)

開会の辞 機能油脂懇話会代表世話人 菅野道廣 (九州大学・熊本県立大学名誉教授)

第1幕 「シンポジウム：医・薬から見た機能性脂質の顔」

1) 遊離脂肪酸をリガンドとする GPCR の創薬ターゲットとしての可能性

森 正明 (武田薬品工業株式会社) (13:05-13:35)

2) 機能性食品の今後：水産有効成分に着目して

宮下 和夫 (北海道大学大学院 水産科学研究院) (13:35-14:05)

～小休憩～

3) 脂肪酸由来の生理活性物質と炎症の制御

有田 誠 (東京大学大学院薬学系研究科) (14:15-14:45)

4) DHA による脳機能維持作用と医療応用

橋本 道男 (島根大学医学部) (14:45-15:15)

第2幕 一般発表 ショートプレゼンテーション (15:15-15:30)

1) 10t, 12c-CLAのがん細胞増殖抑制作用を担う遺伝子p38IP の機能解析

○阿比留晶子<sup>1</sup>、園田知代<sup>1</sup>、山田耕路<sup>1</sup>、立花宏文<sup>1, 2, 3</sup>

(<sup>1</sup>九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門、<sup>2</sup>九州大学・バイオアーキテクチャセンター、<sup>3</sup>九州大学先端融合医療レドックスナビ研究拠点)

2) 肝ガン細胞における共役リノール酸の致死作用

○野見山将太<sup>1</sup>、山崎正夫<sup>1</sup>、岡本威明<sup>2</sup>、須田泰司<sup>3</sup>、柳原陽一<sup>1</sup>、水光正仁<sup>1</sup>、西山和夫<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>宮崎大院・農・応生科、<sup>2</sup>川崎医大・自然科学、<sup>3</sup>川崎医大・組織・電子顕微鏡センター)

3) ナノエマルジョン化共役リノール酸の体内動態と培養肝臓ガン細胞の増殖に及ぼす

## 影響

○木下和昭<sup>1</sup>、茨木佳代<sup>1</sup>、板倉祥子<sup>1</sup>、西片奈保子<sup>2</sup>、清水正高<sup>3</sup>、窄野昌信<sup>1</sup>、山崎正夫<sup>1</sup>、西山和夫<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>宮崎大農・応生科、<sup>2</sup>宮崎県産業支援財団、<sup>3</sup>宮崎県工業技術センター)

## 4) 嫌気性微生物による新規な非メチレン型不飽和脂肪酸生産法の開発

○朴 時範<sup>1</sup>、岸野 重信<sup>1,2</sup>、横関 健三<sup>1</sup>、清水 昌<sup>2,3</sup>、小川 順<sup>2</sup>

(<sup>1</sup>京大院農・産業微生物、<sup>2</sup>京大院農・応用生命、<sup>3</sup>京都学園大・バイオ環境)

## 5) 肥満ラットの病態発症に及ぼすオゾン化脂質摂取の影響

○永尾晃治<sup>1</sup>、迫尾昌美<sup>1</sup>、甲斐俊一<sup>1</sup>、小島浩一<sup>2</sup>、永井利治<sup>2</sup>、柳田晃良<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>佐賀大農・生機科、<sup>2</sup>月島食品工業(株))

第3幕 ポスターディスカッション with コーヒーブレイク (15:30-16:30)

第4幕 総合討論 司会 日清オイリオグループ 青山敏明 (16:30-17:00)

閉会の辞、表彰式 (17:00)